

HULFT DataCatalog

全社に散らばるデータを、
「探せる・分かる・使える」資産に。

キーワードを入れて探すだけで、必要なデータにすぐたどり着ける
探す時間も、聞いて回る手間も減らせます



HULFT DataCatalog (ハルフトデータカタログ) は、社内に散在しているデータをカタログ化し、検索・理解・活用をまとめて支える「メタデータ管理製品」です。データそのものではなく、「どこにあり・何を意味し・どう使われてきたか」という案内図を整えます。

SaaSやシステムが増えるほど、データは部門ごとのシステム、共有フォルダ、データベースへと分かれていきます。HULFT DataCatalogは、そのありかと意味を集めて、探せる状態に整えます。

情報システム・DX推進のご担当、全社でデータ活用を進めたい方へ
生成AI活用に向けて社内データを整えたい方に向けた資料です。



こんな課題を抱えていませんか

データ活用に取り組もうとすると、その手前でこんな場面に行き当たります。

ISSUE 01

データを探すのに時間がかかる

必要なデータが社内のどこにあるのか分からず、共有フォルダやシステムを一つずつ当たることになります。探すだけで時間がかかります。

ISSUE 02

信用できるデータが分からない

データが何を意味し、いつ・どこから来たものか分かりません。信用できるデータか判断しづらく、扱いに迷います。

ISSUE 03

詳しい人しかデータを活用できない

データの意味やありかを知っている人材が一部に偏りがちです。その人がいないと、活用が止まりやすくなります。



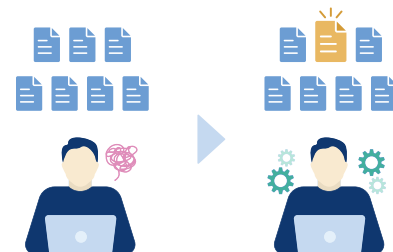
HULFT DataCatalogで課題を解決

HULFT DataCatalogがもたらすのは、機能そのものより「データとの向き合い方」の変化です。

SOLUTION 01

探し回る時間が、大きく減る

社内に散らばったデータを、検索エンジンのように整理・分類。キーワードを入れるだけで所在が分かり、担当者に聞いて回る時間を減らせます。



SOLUTION 02

使ってよいか、一目で分かる

データの意味（用語の定義）と来歴が見えるので、使ってよいかを自分で判断できます。確かめのために人へ問い合わせる時間も減らせます。



SOLUTION 03

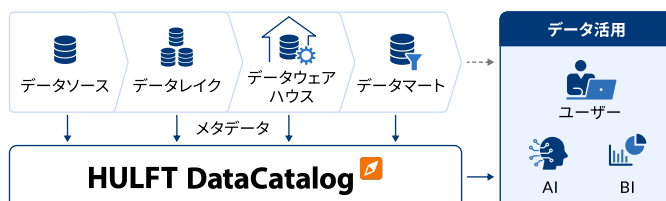
詳しい人に頼らず、自分で選べる

データ探しから理解・選択までを、詳しい人に頼らずに完結させます。意味やありかがカタログとして残るため、担当が変わっても続けやすくなります。



活用イメージ

データの所在を確かめるところから、用語の統一、生成AI活用の下準備まで。目的の近いところから始められます。



データの所在確認

生成AIに渡せる
データの選別

用語・コードの
意味共有

全社のデータ共有

選ばれる理由

POINT
01



データ活用の判断を支えられる

データの所在や意味、品質、関連性などの情報を整理し、データを利用する際の判断材料を提供します。目的に合ったデータを、根拠を持って選択できる環境を整えます。

POINT
02



組織全体でデータを把握・管理できる

さまざまなシステムに存在するデータの情報を一元的に管理し、組織全体で共有できます。部門やシステムをまたいでデータの全体像を把握し、データ活用の基盤を整えます。

POINT
03



データに関する知識を組織の資産にできる

データの意味や使い方、評価に関する知識を組織で共有・蓄積できます。担当者が持つ知識を組織の資産として残り、継続的なデータ活用を支援します。

4つの機能

社内データの探索・理解・活用を、4つの機能で支えます。

✓ メタデータの収集と検索

メタデータを自動収集し、キーワードや同義語・類語で検索できます。

✓ データリネージュ

データの来歴や関係性を可視化し、信頼できるデータかを判断できます。

✓ データプロフィール

NULL値や重複値の含有率からデータ品質を把握し、要件を満たすか検証できます。

✓ データ辞書・評価

用語と意味を統一してデータに紐付け、部門間の意思疎通を円滑にします。

カタログ化 できる範囲

汎用のデータアクセス手順「JDBC」に対応しているため、個別に対応していないデータベースもカタログ化の対象にできます。クラウド上のデータサービスやオブジェクトストレージも取り込めるので、社内に散らばったデータをまとめて見渡せる状態になります。DataSpider Servistaと組み合わせれば、データの来歴をたどる「データリネージュ」も利用可能です。

ユースケース

目的の近い使われ方から、導入後の変化を具体的にたどれます。

データ
検索

探す

データの所在を可視化

課題

必要なデータがどこか分からず、担当部門に問い合わせて回っていた。

施策

社内に分散するメタデータを自動収集し、キーワードで検索可能にした。

効果

同義語・関連語で探せるため、正式名称を知らなくてもたどり着けるようになった。

データ
品質

見極める

来歴と用語の整備

課題

似たデータが複数あり正誤の判断が難しく、用語も部門ごとに揺れていた。

施策

データの来歴と関係性を可視化し、データ辞書で用語と意味を統一した。

効果

数値の変化が改修によるものか実態かを、ユーザー自身で確認できるようになった。

生成AI活用

生かす

投入データの選別

課題

生成AIに投入すべきデータの判断がつかず、活用に踏み出せなかった。

施策

機微データを避け、RAG（検索拡張生成）に適したデータを選別した。

効果

価値あるデータを使うことで、回答の信頼性が高まり、手戻りが減った。

選ばれている業種



金融業・保険業



製造業



情報通信業



公共・自治体

価格の目安

基本パッケージ（プロセッサライセンス）とユーザーライセンス（本体1ライセンスに標準10ユーザーID同梱）を組み合わせる体系です。月額プランで小さく始めることもできます。

基本
パッケージ

ユーザー
ライセンス

月額
プラン

こんなときに...



社内のデータが探せる状態になるか
確かめたい



生成AI活用の下準備を進めたい



まず操作を試してみたい



特長・機能を詳しく知る
製品ページを見る



操作を実際に試せます
評価版をダウンロード



詳細・価格をご案内
お問い合わせ・お見積り

※HULFT、HULFT Square、DataSpider Servista その他関連製品は、株式会社セゾンテクノロジーの登録商標または商標です。

※その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。